

ピアサポ便い

～ピアサポーターの活動を紹介します～

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オールでは、精神科病院に入院されている方を対象に、ピアサポーターを派遣して退院支援に協力させていただく事業を実施しております。

ピアサポーターの活動をより知っていただくために、広報誌にてピアサポーターと相談支援事業所の連携や、対象の方との関わりについてお伝えしてきました。

退院支援に向けたピアサポートの他に、精神科病院と関わりのある機関やピアサポートを実施している機関との交流や意見交換なども実施しております。様々な角度からの精神科領域への関わりを聞くことで、ピアサポーターとしてこれからできる活動を考えるヒントをいただいています。

今号は、各機関にご協力いただいていた開催した交流会や見学などについて、お伝えしていきたいと思います。

<今号の内容>

◎どさんこコロとの交流

◎北大司法精神医療

センターの見学

◎ピアサポーターの感想

◎ピアサポーター

活用業務について

◎編集後記

◎ どさんこコロとの交流

どさんこコロのシンポジウムで、ピアサポーターの池内が登壇、金田と鈴木は参加。これをきっかけに、ワン・オールとどさんこコロとのつながりができた。ワン・オールピアサポーターが、「どさんこコロと交流会したい！」と提案、ワン・オールから依頼して、交流会をやりました。交流会ではそれぞれの活動紹介を行い、活動の様子についてお互いに質問したり、意見交換を行ったりしました。

どさんこコロとは？

精神科病棟に入院している方たちの権利擁護のために、電話相談、訪問をボランティアで行っているNPO 法人です。

今号の1枚



どさんこコロさんとの交流会時の一枚です。

○どさんこコロの活動について、お話ししました。

・電話相談について

入院している方や、退院した方からの相談を受ける。

家族から、制度についての問い合わせや、道外からの相談もある。

・電話相談担当の人をフォローするための工夫について

電話相談終了後の振り返りを行う。

場合によっては、電話相談担当を交代する。

体調と相談しながらの活動も OK。

・その他

相談内容：「とにかく話を聞いてほしい」という内容が多い。

関わりのある病院数：ワン・オールと同じくらい。

電話相談での苦勞：相手が感情的になる事がある。

○ワン・オールとどさんこコロの違い

ワン・オール：支援者からの依頼で支援開始。市の事業(公的な取り組み)

どさんこコロ：本人からの相談を聞く。NPO 法人(民間？私的？)

「似たような活動だけど、少し違う」と感じながらお話を聞いていました。



◎ 北海道大学病院附属司法精神医療センター (以下北大司法精神医療センター)の見学

北海道大学病院附属司法精神医療センターとは？
心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った対象者に対して、
入院治療から社会復帰を目的とした医療機関です。

どさんこコロの広報誌に掲載されていた北大司法精神医療センターの記事をピアサポーターが読んだ。ワン・オール
ピアサポーターが、それぞれ、

- ・北海道で初の医療観察法病棟に興味を持った。
- ・ワン・オールの利用者とは別に、ピアサポーターの身近に、重大な他害行為に障がいに関係している方がいた。
- ・自分たちが今関わっている利用者も、症状の悪化によっては、重大な他害行為に及ぶかも。

という思いもあり、ワン・オール職員に「見学に行けないか？」と頼んだ。ワン・オールより、北大司法精神医療センターへ
依頼したところ、見学できることになった。見学する前に、所内で勉強し見学に臨んだ。

見学当日、ピアサポーター3名と担当職員2名で訪問し、ワーカー3名、社会復帰調整官2名で迎えてくれた。

○お互いの事業紹介

- ・ワン・オールピアサポーターの活動紹介。
- ・医療観察法や、北大司法精神医療センターの説明。

○北大司法精神医療センターとピアサポーターとの連携、活用の可能性について

- ・支援チーム(多職種連携チーム)へのピアサポーターの参加
- ・CPA 会議(地域のいろいろな人が入る会議・カンファレンス)の中や講座で、ピアサポーターの事
や障がい者の地域での実生活、体験談を話す機会

などの意見を北大司法精神医療センターからいただきました。

○意見交換後、センター内を見学しました。



◎ ピアサポーターの感想

・どさんこコロ

ボランティアでこれだけの活動をされている皆さんの熱意に感動した。お互いの活動は似ている部分もあり、何らか
の形で連携していけるのではないかと感じた。あらためて入院中の方に対する権利擁護の大切さを考えさせられた。

・北大司法精神医療センター

北大司法精神医療センターの特徴から、個人情報への配慮が必要な場面が多く、見学さえ難しいのではないかとワン・
オール内で言われていました。しかし、見学することができない、話を聞いたり見学をさせていただいたりする中で、司法
精神医療センター側から、支援チームへのピアサポーターの関わり方についての具体的なイメージのお話をいただき、
そういった雰囲気の中で交流できたのが嬉しかった。自分たちも何らかの形で連携していけたらと思っている。

北大司法精神医療センターの取り組みについて、詳しく説明していただき、知ることができ学びになった。

◎ ピアサポーター活用業務について

札幌市では、精神科病院に入院されている精神障がいのある方を対象に、ピアサポーターを派遣し、地域生活への移行
を推進することを目的とした、「入院者権利擁護推進事業 ピアサポーター活用業務」を実施しています。

退院準備のお手伝いや、退院後数か月は定期的に訪問させていただいて、ピアサポーターがお話をうかがったり、外出
に同行させていただいたりすることができます。この事業は札幌市から委託を受け、ワン・オールが実施しております。

★下記 QR コードに事業の詳細が記載されております。ご参照ください。



“ワン・オールかべ新聞”で検索
> 退院支援情報面
> ピアサポーター支援の流れ



“ワン・オールかべ新聞”で検索
> 退院支援情報面
> ピアサポーター活用業務のパンフレットなど

<編集後記>

- ・様々な交流を通じて、活動の幅が増えれば良いと思います(鈴)
- ・入院から地域移行支援に向けての様々な機関・団体と交流できとても刺激に
なりました(金)
- ・どさんこコロのシンポジウムに参加させていただいたご縁から、貴重な経験
をさせていただけたことに感謝しています。(池)

ピアサポ便利 2025 年 10 月発行
編集発行/さっぽろ地域づくりネットワーク
ワン・オール
〒064-0808 札幌市中央区南 8 条西 2 丁目
市民プラザ星園 302 号
TEL : 011(213)0171
FAX : 011(213)0172
e-mail : sapporo@one-all.net

